

# 信大3研究者 文科大臣表彰

## 燃料電池分野などで評価

信州大学術研究院繊維学系  
の杉本渉・卓越教授(53) 杉材



文部科学大臣表彰を受け記者  
会見する(右から)杉本卓越教  
授、藤井教授、高坂准教授

料化学Ⅱが本年度の科学技術  
分野の文部科学大臣表彰(科  
学技術賞研究部門)を受けた。  
9日、松本市の同大松本キャ  
ンパスで記者会見し、研究内  
容を説明した。

杉本教授は、燃料電池の触  
媒の機能や耐久性を高めるナ  
ノシートを開発。使用する貴  
金属の大幅削減に貢献できる  
という。ナノシートを用いて、

素早く電気をためられる蓄電  
素子「スーパーキャパシタ」  
も開発した。杉本教授は「環  
境とエネルギーの問題を解決  
したい。日本が一番得意とす  
る材料で世界に挑戦したい」

と述べた。

工学系の藤井雅留<sup>がらうだ</sup>太教授  
(39) Ⅱ計算力学、設計工学Ⅱ  
と、繊維学系の高坂泰弘准教授  
(38) Ⅱ高分子化学Ⅱは、そ  
れぞれ文部科学大臣表彰(若  
手科学者賞)を受賞した。

藤井教授は光学的な手法  
で物体を見えなくする「クロ  
ーク技術」について、数値  
的な手法で高性能化を実現。  
「ロマンがある研究だ」とし

た。  
高坂准教授は解熱鎮痛剤ア  
スピリンを原料に、資源循環  
が可能なプラスチックを開発  
することなどに成功した。「ま  
だまだ高分子化学(の分野)  
は生活を豊かにしていける。  
自然との協調もできる」と話  
した。